



消防

鹿角

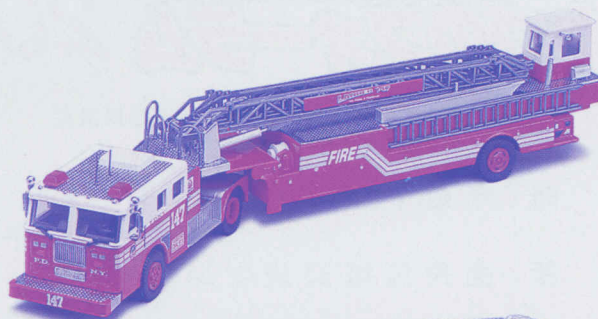
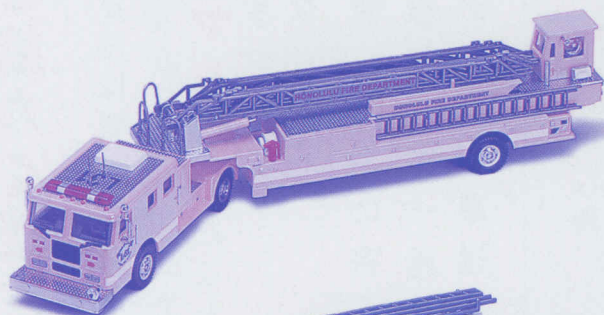
第9号 平成12年 秋季号

編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部

鹿角広域消防本部管内 ことしの出動件数 平成12年8月1日現在	
総出動件数	792件
①火災	11件
②ぼやなど	16件
③救急	722件
④救助	18件
⑤風雪水害	4件
⑥遭難搜索	9件
⑦その他	12件
※1ヶ月の平均出動件数	113件
※1日の平均出動件数	4.3件

<全国統一防火標語>

火をつけた あなたの責任 最後まで



世界の消防車

世界各国には、色々な消防車があります。
赤い消防車、黄色い消防車、はしごを積んだ
トレーラー型の消防車など…。

写真提供：シグナルオフィシャルサプライヤーズ Inc

自分達のこととは自分達で

小坂町川上地区
の余呂米では、自
主防災組織（自主防
災組織については、前
号で詳しく紹介してい
ます。）として「余
呂米自治防災会」
（会長 錢盛靖久）
を平成十一年四月
に結成しました。
当防災会では、
”自分達のこととは
自分達で守る”を
合い言葉に、隣近
所助け合いの精神
で自主的な防災活
動、地震やその他
の災害による被害
の防止及び軽減を
図る活動を自治会
全世帯で行ってい
ます。

（下写真） 消防訓練の様子
「消火器ってトシヨリでも簡単
に使えるんだなあ」



小坂町川上地区 「余呂米自治防災会」

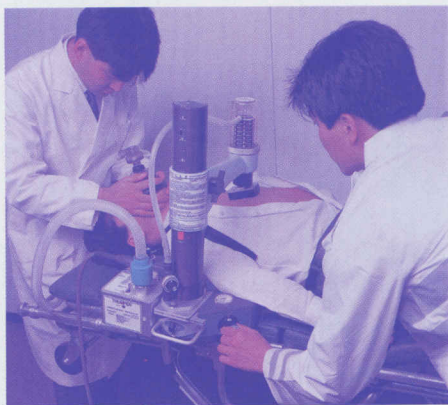
当防災会は、結成し
て一年半とまだ日は浅
いものの、川上地区の
防災リーダーとして自
分の家庭でできる防災
対策から取り組んでい
ます。
主な活動は次のとお
りです。
・ 消防訓練や防火座
談会の開催
・ 各家庭での非常持
ち出し品の確認
・ 各種研修会へ
の参加

消防用機器の紹介

じどうしんばいそせいそうち 「自動心肺蘇生装置」

今回は、救急車に積載されている救急用資機材を
紹介します。

自動心肺蘇生装置とは、心臓や呼吸が止まっている
人に対して体の表面から胸部を圧迫して心臓マッ
サージを行いながら、心臓の動きに合わせて規則的
な間隔で強制的に肺へ酸素を送ることにより呼吸機
能をも回復させる装置です。



※実際に自動心肺蘇生装置を
使っている例

知ってまあか？

一般家庭での灯油の貯増量

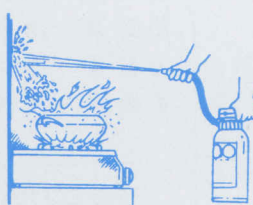
一般家庭で貯蔵したり取り扱える量
が条例（鹿角広域行政組合火災予防条例）で定めら
れています。

ドラム缶に換算すると約2本と半分
（約500リットル）です。

※ 500リットル以上貯蔵する場合は、
消防署へ届出が必要となります。



給油するときは、エン
ジンを停止したり、ス
トープの火を消してから
行いましょう。



もし、油類を使用中
に火災が発生した場
合は、消火器を使い
ましょう。

消火器の押し売りに注意！



広報「消防鹿角」に関するご意見・要望等がござ
いましたら下記の連絡先までお願いします。

また、当広報へ掲載したい記事等も受け付けて
います。

連絡・問い合わせ先

消防本部・消防署	電話 23-5601
	FAX 23-5605
十和田分署	電話 35-2006
	FAX 35-2007
小坂分署	電話 29-2119
	FAX 29-3731
八幡平分駐所	電話 34-2229



きのこ採りシーズン到来 遭難に注意!!

毎年「きのこ採り」による遭難事故が発生しています。
無理をせずに十分注意して「きのこ採り」を楽しみましょう。

入山するときの心がけ

- ① 一人で入山せず、雨具・食料は必ず持っていく。
- ② 入山前に自分の位置を確認して、目標を決めてから行動する。
- ③ 仲間同士で集合時間・場所を決めて声を掛け合いながら行動する。
- ④ 家族に行き先・帰宅時間・一緒に行く人などを知らせておく。



救命手当普及推進 かづのフォーラム 2000

主催：鹿角地方部 救命手当普及推進協議会
指導：鹿角広域行政組合消防本部

日 時：平成12年 9月30日(土)
午後1時～午後5時
場 所：鹿角広域交流センター

- 内 容：① 消防職員による寸劇
② 応急手当講習(普通救命講習会)
③ 体験事例発表
④ 医師による講演

ご協力ください!

皆さんは車を運転中、
緊急車が近づいて来た時
「ヒヤッ」としたことが
ありませんか？
そんなときは、

- ① 焦らず左に寄る。
- ② 徐行又は一時停止する。
- ③ そのまま通過するのを待つ。



愛する人のために 救命手当を覚えよう!!

出前講座を実施しています。
個人・団体でのお申し込みを
お待ちしております

お問い合わせ、ご相談は
最寄りの消防署まで。

忘れていませんか？ 救命手当再講習!

普通・上級救命講習修了証
を交付されている方は、今一
度ご自分の修了証を確認して
みて下さい。
3年に1回は、再講習を受
けましょう。

消防署見学

消防署の皆さんへ

見学の時、消防車の
仕組みをいろいろ教え
てもらってありがとうございました。
ごさいました。とても
参考になりました。
ひとつの質問にも分
かりやすく、ていねい
に答えてくれてありが
とうございます。
作文を書く時、質門
の答えがとても参考に
なっていました。

仕事を休めて私たちが
色々教えてもらってあ
りがとうございました。

花輪小学校
4年3組
奈良綾子

連載

ひと口メモ

脳卒中

これが前ぶれだ!



●めまいや頭痛、
吐き気がする



●半身がしびれる



●手足に力が入ら
なくなる



●ろれつが回らない



●言いたいことが
あって も言葉が
出てこない



●突然ものが2重に
見え始める

わすれものは？

わが家は大丈夫？ 台風対策

日頃の心構え

○ 気象情報・警報などには、耳を傾ける習慣を付けよう。

○ 避難場所は、普段から確認しておこう。

○ 家族で防災について話し合おう。

○ 避難するときの携行品を確認しよう。

・ 非常食

・ 懐中電灯

・ 携行用ラジオ

・ 貴重品

・ 医薬品など

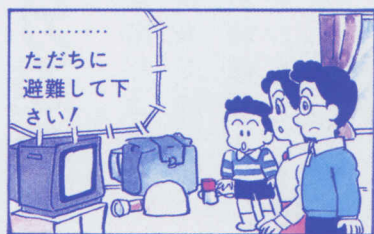
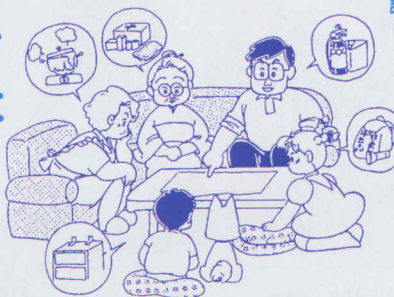
避難するときは！

・ 単独行動はしない。

・ 火気、電気、ガスなどの始末と戸締まりは確実に。

・ あわてず、落ち着いて行動する。

・ 避難場所は、学校などの公共施設や集会所、神社やお寺などです。



がんばれ！消防団

去る7月2日に鹿角都市の消防訓練大会が開催されました。ポンプ車の部では、八幡平第1分団第1部（谷内）が、小型ポンプの部では、尾去沢第1分団第1部（西道口）が優勝し、全県大会へ出場します。

第37回 秋田県消防操法大会（全県大会）は、平成12年9月5日（火）午前10時から由利郡岩城町道川の秋田県消防学校で開催されます。

ポンプ車の部

八幡平第1分団第1部			
指揮者	班長	畠山幸栄	
①番員	団員	阿部邦信	
②番員	団員	阿部信悟	
③番員	団員	館花一仁	
④番員	団員	畠山広喜	

小型ポンプの部

尾去沢第1分団第1部			
指揮者	団員	前田幸栄	
①番員	団員	赤坂大雄	
②番員	団員	山口隆	
③番員	団員	佐藤義広	



消防マメ知識 (9) 火の起源

私たちの暮らしになくてはならない火――。

人類が初めて火を使ったのは、50万～20万年前に住んでいた北京原人だといわれています。

彼らは、火山や野火、山火事など自然に発生した火を、木の枝などに移して用いることを発見し、生活の道具として利用することを知ったのです。

身を守る武器として、暖房としてあるいは明かりとして、そして火の上で生肉を焼き、食物を煮る道具として……。

利器のない先人たちにとって火は、大切な宝であったに違いありません。



秋田県 消防防災ヘリ

なまばげ 活躍中

Q：鹿角まで何分？

A：秋田空港から約30分です。

Q：どんなときに来るの？

A：山火事の消火や遭難などの救助、重度傷病者の空輸が必要などときなどです。

Q：何人乗れるの？

A：操縦士を含めて11名です。

Q：何時間飛べるの？

A：約2時間30分飛行できます。



遭難者や火災などの災害で逃げ遅れた人などをヘリコプターでつり上げ、ヘリポートなど広い場所で救急車へ引き継ぎます。

また、重傷患者を鹿角郡市内の医療機関から大学病院など大きな病院へ緊急搬送するときも使用します。